



小学生版

環境学習講座 ご案内

夏休み子ども環境学習講座



から受付開始♪
HPからお申込みください（往復はがきも可）

気象予報士から学ぶ 気象と環境

【日時／対象学年／講座内容】

①②③ともに14:00~16:00

- 7月27日(土) 小3-4年と保護者『天気予報にチャレンジ』
*日向と日陰の温度測定。雲の図鑑作り
- 7月28日(日) 小4-5-6年『2100年未来の天気予報』
*二酸化炭素の温室効果実験。牛乳パック百葉箱作り
- 7月29日(月) 小1-2年と保護者『お天気ふしぎ発見!』
*ペットボトルで雲作り。光の万華鏡作り

【申込受付期間】 6/21~26 (必着)

【場所】 こみゆにていぶらざ八潮 第3交流室

【講師】 NPO法人気象キャスターネットワーク

【定員】 小学生 各回20名(抽選)

【参加費】 無料



から受付開始♪
お申込みは往復はがきのみ受付です

キッチンからはじめるエコロジー 地球にやさしい旬の料理をつくろう!

【日時／講座内容】 小学1-6年生対象

- 8月1日(木) *時間はいずれも
- 8月2日(金) 10:30
- 8月3日(土) ~13:00
- 8月4日(日)

実習メニュー (各回とも同一)
*かわいいランチプレート



【申込受付期間】 7/1~8 (必着)

【場所】 東京ガス・キッチンランド川崎

*川崎駅東口より徒歩6分

【講師】 東京ガスクッキングインストラクター

【定員】 小学生と保護者 各回9組(抽選)

*小学生1人に対し保護者1人を1組とする

【参加費】 2名1組500円

*第2希望日まで可。

*場所記載の無い講座はこみゆにていぶらざ八潮での開催です!

小1~3と保護者

環境マークを集めて自由研究をつくっちゃおう!

いろいろな商品についている「環境マーク」について学びましょう。

- 開催日/7月21日(日)
- 募集/6月11日から



小4~6と保護者

環境ものづくり教室 電子工作にチャレンジ!ラジオを作ろう

環境素材を使った物作り教室です。

- 開催日/8月8日(木)
- 募集/7月11日から
- 場所/SMK(株)本社(戸越6-5-5)



小3~4と保護者

水の力, 水の不思議の実験で自由研究

水と氷の重さ比べや様々な実験を行い、水の性質について詳しく学びます。

- 開催日/8月11日(日)
- 募集/7月11日から



世界の 小1~6と保護者

アニメで読みとく民話とミニ絵本作り♪

世界の民話の意味を考え、後半はハードカバーのミニ絵本を作ります。

- 開催日/9月29日(日)
- 募集/9月1日から



〈お申込方法〉*②以外は必ず保護者名をご記入下さい

HP: <https://shinagawa-eco.jp/>よりどうぞ!

往復はがき: 講座名、希望日、参加者全員の氏名(保護者名も)、住所、電話番号、学年をご記入の上、下記宛先までお送りください。

【往復はがき宛先】

〒140-0003 品川区八潮5-9-11こみゆにていぶらざ八潮
環境情報活動センター

【問い合わせ】 TEL: 03-5755-2200

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

*講座の日時、名称、内容などはいずれも予定です。最新の情報は、環境情報活動センターのホームページをご覧ください。2か月先までの講座をご案内しています。「広報しながわ」には募集開始日に掲載されます。

将来の夢

みなさんの将来の夢は何でしょう？

わたしは子どものころ、大人になったら考古学者とか古生物学者になりたいと思っていました。「子どものころ」と書いたとおり、今わたしは考古学とはまったくちがう、地球環境(かんきょう)の保全(ほぜん)に関する仕事をしています。子どものころになりたかったこととはちがう仕事をしていますが、とてもやりがいを感じています。



子どものころは、恐竜(きょうりゅう)が好きで、古生物学者になって自分も恐竜の化石をほり出したいと思っており、恐竜の本を読んだりして勉強するうちに、恐竜は絶滅(ぜつめつ)してしまったこと、今も絶滅しそうな生き物が地球にはたくさんいる、ということを知り、自然や環境の保全のための仕事につきたいと思うようになりました。

自然や環境の保全のための仕事には2つの方向があります。1つめは、動物園の人・じゅう医・自然保ご活動の仕事などの自然や生き物にかかわる仕事、環境の研究者・いらなくなった物をリサイクルする仕事・水や空気の汚(よご)れを調べたりきれいにする仕事などの環境保全を行う仕事です。2つめは、自然や環境保全のことを考えながら、様々な仕事をするという方法です。工場で働くならば水や空気を汚さ

ないようにするとか、電気製品(せいひん)の仕事なら省エネルギー製品を作るとか売るとか、食べ物屋ならば食品ごみが少なくなるように工夫するなど、環境保全のことを考えながら仕事をするのも、自然や環境保全を進めるうえで大切です。



ちなみに私が子どものころに人気のあった将来の夢は、野球選手やパイロット、先生や歌手でした。野球選手は、木のバットを使うので植樹(しょくじゅ)して木を増(ふ)やす活動をしています。こう空会社は、石油を加工して飛行機の燃料(ねんりょう)にしているため、地球温暖化(おんだんか)をおさえる省エネルギーの飛行機を飛ばすようにしています。先生は



学校で環境保全のことを教える授業(じゅぎょう)もしますね。さまざまな仕事で、地球や環境のためにできることがあります。

みなさんは社会に出たらどんな仕事をしたいですか？

みなさんの将来の夢は何でしょう？

みなさんの考えや夢、ぜひ聞かせてください。

(環境保全コンサルタント 鉢木善知)

どうして雲ができるの？雨が降るの？

地上であたためられるなどして空気が上昇(しょう)します

上空へ上がった空気(水蒸気)は冷やされて非常に小さな水滴(てき)=雲になり、それらが集まってだんだん大きな水滴になり、重くなって落ちてくる。それが雨です。

空気が上昇するのはこんな時

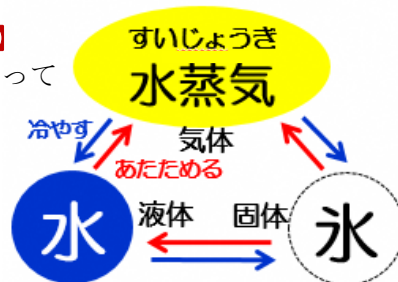
①地面が熱せられて【下の実験】

②山の斜(しゃ)面を駆(か)け上がって

③暖(あたた)かい空気と冷たい空気がぶつかって(前線)

④低気圧の中心で

この結果、雨が降(ふ)ります。



【上昇気流発生実験】

地面が熱せられて上昇気流が発生している実験です。

缶の中には熱湯が入っており、空気が↑

その結果、風車が回転しています。

最近、大雨が多いように思うけど

昨年7月に中国地方で発生した局地的大雨は、いろいろな要因(いん)が重なって発生しましたが、次の2つが主な要因です。

①水蒸気をたくさん含(ふ)んだ2つの空気の流れがこの地域(いき)で合流した。

②梅雨前線が停滞(たい)し、強くなった。

地球温暖化によって空気中の水蒸気の量が増(ふ)え、大雨をもたらすといわれています。

しながわECOだより 2019年度第1号

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：令和元年6月10日

住所：〒140-0003 品川区八潮5-9-11

TEL/FAX：03-5755-2200

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

こんな講座を開催しました (平成31年4月～令和元年8月)

小学生対象講座

●おもしろ気象実験と雨量計作り

雲や雨などのお天気のおふしぎを学び、雲作り実験をはじめとした様々な楽しい実験をしました。また、ペットボトルで雨量計(右写真)を作りました。



●何かいるかな？

～品川の水辺の生きものたち

普段は非公開の公園の干潟保全地区で海の生きもの暮らしを観察し、磯遊びのマナーも学びました。



●宇宙旅行の疑似体験と

星座早見盤作り

地球を飛び出し、太陽系から地球環境を考えました。星座早見盤(右写真)を作り、街中で星を見つけるコツを学びました。



●南極を知る、体験する

日本南極地域観測隊の越冬隊に参加した講師から、南極での貴重な体験を聞きました。南極の水→(水を注ぐとピピチと音がしました)



●木の大切さを学び、

竹笛を作って鳴らそう

不思議な植物でもある竹のお話を聞いた後、竹笛を作って皆で鳴らしました。ぴ～ぴ～♪



●環境マークを集めて、

自由研究をつくっちゃおう！

いろいろな商品やサービスについている「環境」に関するマークを集めて、マークの名前や意味を模造紙にまとめました。



●気象予報士から学ぶ気象と環境

お天気、地球温暖化について、さまざまな実験や工作をしながら楽しく学びました。ペットボトルで雲作り→



●キッチンからはじめるエコロジー

身近な「食」を通して環境問題を学び、地球にやさしい旬の料理(かわいいランチプレート)を作りました。



●電子工作にチャレンジ！

ラジオを作ろう

企業の現場での環境保全活動を開き、環境素材を使ったものづくり教室でラジオを作りました。



●水の力、水の不思議の実験で自由研究

水と氷の重さ比べや、すきまを登る水など様々な実験を行い、自由研究の進め方を学びました。ハスの葉っぱの上の水滴は丸くなりました。



大人対象講座

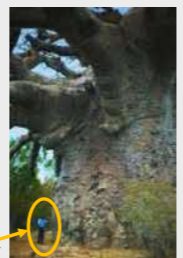
●園芸講座・キッチンハーブの寄せ植え

様々なハーブの特徴、育成法、料理での使い方を解説していただいた後、寄せ植えを作りました。



●世界の巨木を訪ねて知る 自然の神秘

美しい写真を見て、世界の森林を旅しながら、人や生き物、撮影秘話などについてお話を聞きました。巨木の横に立つ人



●LEDライト付き救急箱を作ろう

なぜLED照明が省エネになるかを学び、簡単な接着と配線作業で完成する「LEDライト付き救急箱」を作りました。



●異常気象と台風・局地的大雨などの気象災害から身を守る

気象災害から身を守るために、災害事例、気象情報の活用などについて学びました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ <http://shinagawa-eco.jp/wp/kouza/> の「過去の講座を紹介しませう」でご覧いただけます。

しながわECOだより 2019年度第2号

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：令和元年9月10日

住所：〒140-0003

品川区八潮5-9-11

TEL/FAX：03-5755-2200

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわecoだより

環境情報活動センターだより

2019年 令和元年 第2号

shinagawa-eco.jp

秋からの講座計画です

環境学習講座のご案内 (小学生対象)

*大人向け講座は Page 2 に掲載しております

10月1日から受付開始♪

小2～4年生と保護者

おもちゃde教えて!遊んでエコ工作

おもちゃのエコを例に、クイズやワークをとりいれながら3Rについて学び、バンダイのカプセル玩具の空カプセルを使って、はんこを作ります。

■ 開催日/10月27日(日)
■ 受付/10月1日(火)から

どんなはんこ つくろうかな?~?

小1～3年生と保護者

大切な森のお話とつみ木のワークショップ

つみ木を通して森林や自然の恵みを五感で感じ、紙芝居で日本の森の現状などを学びます。

■ 開催日/11月24日(日)
■ 受付/10月21日(月)から

小3～6年生と保護者

ジャムのビンで白熱電球を作ろう

空のビンを使って白熱電球を作ります。電気の仕組みなど「ものづくり」を学びながら、白熱電球を実用化したエジソンに挑戦しましょう。

■ 開催日/12月1日(日)
■ 受付/11月1日(金)から

電球 作るなんて すご〜い!

小3～6年生と保護者

PET ペットボトルから繊維を作ろう

使用済みペットボトルは服など色々なものにリサイクルされています。簡単な実験を通してその過程を体験してみましょう。

■ 開催日/11月10日(日)
■ 受付/10月11日(金)から

小1～4年生と保護者

庭師と一緒に作る和風リース

庭師の仕事や木についてのお話を聞いたあと、庭で出た自然物を使って和風のリースを作ります。

■ 開催日/12月8日(日)
■ 受付/11月11日(月)から

*講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

*スマホから応募された場合、パソコンからのメール受信が拒否設定になっている可能性があります。当センターのメールアドレスを受信できる設定をお願いします。
info@shinagawa-eco.jp と center@shinagawa-eco.jp

環境学習講座 ご案内 (大人対象)

大人 海洋プラスチックの現状と私たちにできること

- プラスチックごみの現状
- マイクロプラスチックの人体への影響
- 日本全国の河川におけるマイクロプラスチック汚染の大規模調査結果
- 発生源は身の回りにあります。
- 私たちにできることはどんなことでしょうか。
- プラスチックごみの適正な処理とプラスチックを使うことそのものを減らすことが必要です。

- 開催日/11月26日(火)
- 受付/10月21日(月)から
- 講師/二瓶泰雄氏
(東京理科大学 理工学部教授)
- 会場/荏原第五区民集会所
(下神明駅徒歩2分)



環境省



マイクロプラスチック問題については多くの企業が対策を始めています...



大人 古布で作る手作りふくさ

祝儀用又は不祝儀用の「ふくさ」作りを通し、古い着物などの再利用法を学びます。

- 開催日/10月19日(土)
- 受付/9月21日(土)から

*実際の柄は異なります→



裁縫の苦手な方でもひと針ひと針ゆっくり作るので大丈夫です!

大人 お正月の寄せ植え

お正月用に季節の草花を添えた寄せ植え作りです。お手入れの方法もお話いただきます。

- 開催日/12月16日(月)
- 受付/11月21日(木)から

*写真は昨年度講座より→



素敵なお正月になりそう!

大人 おいしいお茶の入れ方を学びましょう

伊藤園の環境への取り組みのお話と、お茶の入れ方の実践講座です。

- 開催日/1月18日(土)
- 受付/12月11日(水)から



*ご応募の際の注意事項などは page 1 下をご覧ください。

地球温暖化で 私たちの食料は...?

気候変動に関する政府間パネル (IPCC) は8月上旬、地球温暖化が土地に与える影響などについての報告書を初めてまとめました。このまま温暖化が進むと世界の食料供給に深刻な影響をもたらす、また異常気象の頻度・強さ・期間が増したのには温暖化の影響による可能性が非常に高いとされています。異常気象と地球温暖化の関係に、これまで以上に踏み込んだ報告書になっています。

今年の夏、ヨーロッパは熱波に襲われ、パリでは42.6℃を記録、ドイツやオランダ、ベルギーでも40℃超えの記録的な暑さに見舞われました。

またグリーンランドでは大量の氷が解けて湖のようになった氷の上を犬ぞりが進む映像がテレビで紹介されました。

すでに開発途上国の一部では穀物の生産量が減少し、一方で人口の増加により飢餓の危険性が予測されています。日本では気温、海水温の上昇で農作物の生育障害や収穫量の減少が発生したり、産地や漁場の変化が進み、農水産業への影響が出ています。



干ばつで枯れたトウモロコシの畑 (アフリカのタンザニア) ~学研の図鑑「地球の環境」~

森の木と品川区

関係なさそうだけれど、関係があったというお話

小学生のみなさんは「林業」というとどんなイメージがありますか?多くの方は、のこぎりやチェーンソーで木を切る仕事というイメージを思い浮かべるのではないのでしょうか。なので、林業は森の木を切って、自然をこわしてしまっている、という印象をもたれがちです。確かに、日本は外国の森の木をたくさん切って使っています。日本だけでなく、アメリカ、中国をはじめ、世界中の国が森の木をたくさん切って使っているのです、世界の森林は減っています。



森の木を切ったところ(ロシア)

私たちの周りにはたくさんの木を使ったものがあって、紙(紙は木から作られる)・家・家具(イス・机・たんすなど)・エンピツなどなど、木から作られた物にふれない日はないかもしれません。とても多くの木が切られて、わたしたちの身のまわりの物になっていますが、これ以上、森をなくさないようにしよう、自然を大切にしながら木を利用しようという取り組みが始まって、多くの林業の会社で行われるようになりました。木を全部切るのではなく、利用したい木を選んでほかの木を残すとか、木を切った後に森が元にもどりやすい切り方をするとか、自然のことを考えて木を利用するようになってきています。



間ばつってなに?

木を元気に成長するために一部の木を切ること。



図: 全国森林組合連合会資料より

木があり、森があって、林業がある。未来のことをや地球のことを考え、森を大切にしながら、森の木を利用し、わたしたちの生活の役に立つ物を作ってくれています。



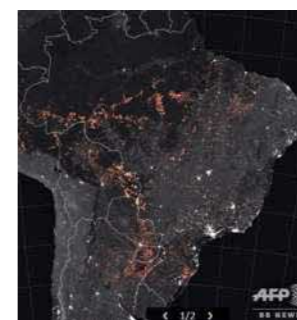
間ばつした森

みなさんも機会があったら森林に出かけてみましょう。そういえば品川区には林試の森公園がありますね。ここは林業試験場だったところ。とてもいい公園なのでぜひ行ってみてくださいね。

(環境保全コンサルタント 鉢木善知)

アマゾンで発生している大火災

大規模な熱帯雨林が焼失しています(2019年9月上旬現在)。この広大なエリアでの火災の発生が最近特に増加しており、昨年の2倍に近いとのこと。火災の煙は近くで行われていたサッカーの試合を一時中断させ、遠く離れたサンパウロにまで届きました。森林は地球温暖化の主たる原因である二酸化炭素を吸収し、酸素を供給してくれる大切な自然です。アマゾンの森林火災は地球温暖化を促進すると言っても過言ではないでしょう。



NASAが公開した衛星写真 (赤く見えるところが火災発生地域)

この火災の原因は乱開発によると言われていています。開発に当たっては、まず森林を伐採、乾燥して焼却します。すなわち焼き畑をしてそこで作物を育てます。この一連の流れが火災の発生頻度を高め、大規模な火災発生を誘発しているようです。この火災は12月の雨季になるまで鎮火しない可能性があると言われていています。

ボルネオ島でも森林破壊が進んでおり、最終的に木材や紙として私たちの生活になくならないものとなっています。ボルネオ島の環境保全を重視し、消費国である日本として「責任ある購入」に向けた取り組みを行っている企業や団体(*)があります。

(*)例: 「ボルネオ島の森林保全 Wwf ジャパン」で検索



2・3月の講座計画です

環境学習講座 ご案内 (小学生対象)

蓄電式

小3～6年生と保護者

風力発電機を作ろう!

風力発電について学び、ペットボトルや牛乳パックなどを使って蓄電式風力発電機を作ります。

- 開催日/2月9日(日)
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮
- 募集/1月11日から
- 講師/杉山仁氏
(蔵前理科教室ふしぎ不思議 幹事)



コンデンサーやLEDも使うよ

楽しい

小1～4年生と保護者

おやつ教室とキャンドル工作

カルビーの工場や原材料などについて学び、使用済み食用油でキャンドルを作ります。

- 開催日/2月16日(日)
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮
- 募集/1月21日から
- 講師/森田孝枝氏
(カルビー(株) 食生活アドバイザー)



春休み子ども環境学習講座

ネイチャーウォッチング ～身近な自然観察会

学校の授業とは一味違ったアプローチで生きものについて学びます。

- ① 3月28日(土)
(小学1～2年生と保護者)

「お花のにおい、めざめた虫、
“春”をさがしにでかけよう!

昨年の参加者の声:「専門の方とまわると、身近な自然の見方がぜんぜん違って楽しかったです」
春の草花の香り袋も作ります♪

- ② 3月29日(日)
(小学3～6年生と保護者)

「八潮でバードウォッチング!」

昨年の参加者の声:「身近なところにもこんなにたくさんの鳥がいたとは驚きでした」
飛ぶ鳥のクラフトも作ります♪

- 場所/こみゆにていぶらざ八潮と周辺緑地
- 募集/2月21日から
- 講師/村松亜希子氏
(生態教育センター理事・千葉大学非常勤講師)



はるの草花の香り袋♪



林の中を歩きます

小3～6年生と保護者

ピカッと光る豆電球

手作り乾電池教室

いろいろな乾電池と充電式乾電池、また電池のリサイクルについて学んだ後、乾電池を手作りします。

- 開催日/3月1日(日)
- 場所/こみゆにていぶらざ八潮
- 募集/2月1日から
- 講師/森島秀好氏
(一般社団法人JBRC)



二酸化マンガンを鉛缶に...

〈お申込方法〉*必ず保護者名をご記入下さい。
<https://shinagawa-eco.jp/>から または
往復はがき:講座名、参加者全員の氏名(保護者名も)、住所、電話番号、学年をご記入の上
下記宛先までお送りください。

【往復はがき宛先】
〒140-0003 品川区八潮5-9-11
こみゆにていぶらざ八潮 環境情報活動センター
【問い合わせ】
TEL: 03-5755-2200
E-mail: center@shinagawa-eco.jp

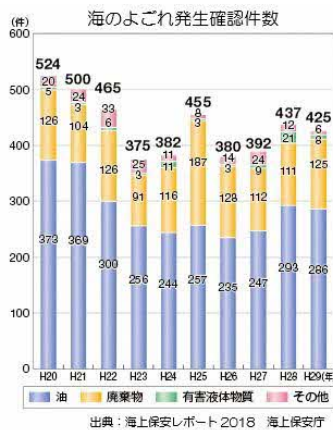
*講座の日時、名称、内容などはいずれも予定です。最新の情報は、環境情報活動センターのホームページをご覧ください。2か月先までの講座をご案内しています。「広報しながわ」には募集開始日に掲載されます。

いま、海で起きていること

この前、運河にかかる橋を歩いてきました。橋から見える海面にはたくさんのごみがただよっていました。海のごごれはどうして起こるのか、小学生のみなさんと一緒に考えてみましょう。

手もとに日本の地図があれば広げてみましょう。日本は周りを海に囲まれている国です。わたしたちの住む品川区も海に面していますね。昔から海のごみをたくさんいただいて、わたしたちは暮らしてきました。ところが今、世界で「海洋プラスチック」といったキーワードで、海のごみ・よごれのこと大きな問題として知られ始めています。

日本の海については、海上保安庁が船や飛行機などで安全のために見張ったり・調べています。海のごごれについては調べた結果を海上保安レポートという本に毎年のせており、平成29年は、425件の海のごごれが確認されています。よごれは、油が286件、ごみ125件などでした。

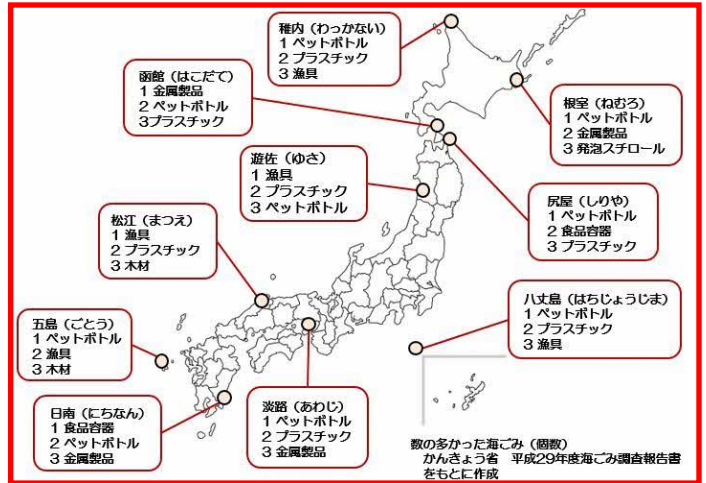


この他にも、目で見るのが難しい化学物質や放射能によるよごれ、海の底にすんだ物なども調べています。また、かんきょう省でも「海ごみ調査報告書」として全国の海岸で見つかったごみ（海岸ひょう着ごみ）やプラスチックごみがバラバラになって小さくなった「マイクロプラスチック」と呼ばれるごみについて調べてまとめています。

この中では、いろいろなごみが海をただよい、海岸に流れ着いていることをまとめているのですが、とくにマイクロプラスチックは、魚やプランクトンが体内に取りこんでしまい、それを食べるほかの生き物の生命までおびやかす大変な問題であることがわかってきました。

それでは、これらの海ごみはどこから来るのでしょうか。

全国で役所や市民団体が海ごみを拾い集め、海岸をきれいにする活動をしています。かんきょう省のまとめでは、海ごみの中で多い物として、①ペットボトル、②プラスチック、③漁具をあげ、とくにペットボトルの数が1位になる地域が多かったとしています。そのほかにも食品の入れ物（弁当箱、トレイなど）、金属品なども目立っています。



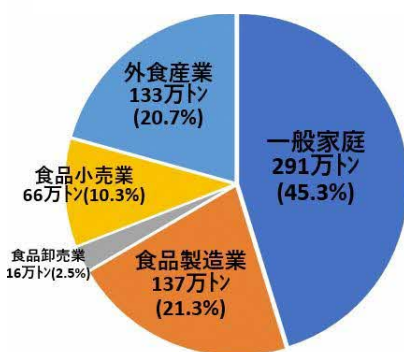
こうして見ると、海ごみの多くは、わたしたちの日常生活・身のまわりにある身近なものです。そして、プラスチックでできているごみは自然では分解しません。強い日光などでバラバラになりますが、小さくなるだけでプラスチックという物のまま、生き物の体に取りこまれるなどの問題を起こします。海ごみを減らすことは、わたしたちや生き物が安心して生きていくために大切なことです。

ごみをきちんとゴミ箱に捨てる、プラスチックごみを減らす生活に変えていくなどのちょっとした心づかいで、海はずいぶんきれいになります。いつまでもきれいな海を保てるように、自分のことから始めていきましょう。

(環境保全コンサルタント 鉢木善知)

食品ロス削減に私たちが家庭でできること

発生場所ごとの食品ロス量
平成28年度推計
合計643万トン(100%)



食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことで、節分の時に食べる「恵方巻」が大量に処分されたことで問題になったことがありました。

食品ロスの半分近く(45%)が家庭で発生しています。

- ・冷蔵庫内の在庫管理を心掛けましょう。
- ・買い物に出かける前に冷蔵庫の中をチェックしましょう。

- ・時々には在庫整理(冷蔵庫内の食材を使って料理)をしましょう。
- ・安いからといって買いすぎることのないようにしましょう。
- ・作りすぎないように、食べられる分だけを作るようにしましょう。食べきれなかったものは冷凍保存しましょう。
- ・贈答品でもらった食べ物で自分の好みでないものや、買ったけれど食べないだろうと思うものは、フードバンクへ寄付しましょう。

参考：外食時のおいしく「食べきり」ガイド(消費者庁・農林水産省・環境省)

環境記者活躍中

【台風15号と停電対応】

私がいた千葉県袖ヶ浦市は、台風15号の暴風被害とその後の大停電で3日近く全く電気が使えませんでした。信号は全部無灯。信号や電柱も、柱という柱は斜めに傾き、家々の屋根やビニールハウスは破壊しつくされ、木更津・袖ヶ浦界隈は壮絶な光景でした。

袖ヶ浦の我が家は、太陽電池の載っている母屋は瓦も飛ぶことなく無事でしたが、納屋の方は一部屋根が欠け、トタン板の外壁が東側を中心に吹き飛び（右写真）、納屋の中の道具類が浸水していました。

居宅には太陽光・再生鉛蓄電池充電システムがあり、この電力で東京電力が停電中ほぼ通常の生活を営むことができました。ダイニングと続きのリビングはエアコンが効いているスペースで、十数人は収容可能という環境を確保できたためにご近所さん、地区の顔役の方を訪れ、拙宅に冷房があること、携帯電話などの充電ができることを地区の連絡網で知らせてほしいとお願いに行きました。顔なじみの男性陣は携帯電話の充電がてら涼みに来てくれました。近所の農家さんからお礼にとれたてのキュウリなどをいただくなど有難い交流ができました。

電気が長時間ない生活がこれほど不自由で、人命への危険をもたらすことを考えれば、せめて10軒に1件くらいは太陽光発電を中心とした非常時電源確保とそのシェアをコミュニティとして図ることで、随分苦しみが減るのではないかと感じます。 [林 彰一様]

【しながわオリパラ暑さ対策】

広報しながわ(8月1日号)に「この道は 世界につづく ゆめとびら／8月は道路ふれあい月間です」という特集記事が掲載されていたので担当部署に問い合わせしてみました。



近くにある発電所設備
収納庫の扉が飛散

①勝島橋を通る車道は遮熱性舗装されているのですか?…今年度中に灰色の塗装をする予定です。

②八潮橋の八潮団地側の歩道は最近、歩きやすくなりましたね…雨が染み込みやすく、滑りにくいタイルを敷きました。

③立会川駅までの樹木に張り紙が巻きつけてありましたが…高い樹木は活かし、残りを低木に整備するための告知です。

④立会川駅付近では自転車ナビライン・ナビマークならぬ歩行者ナビライン・ナビマーク、および遮熱性舗装を発見しました。 [小滝静子様]

【海の温暖化と汚れ】

(1)海水の温暖化と生息する貝

月2回程、三浦半島や房総半島など近くの海に出かけています。今年特に感じたのは、房総半島の館山に行った時、紀伊半島以南に生息しているとされている貝が多数見られ、昨年、一昨年と比較しても更に温暖化が進んでいることを実感しました。まるで南紀へ行った時に見られる貝が関東地方でも見られるようになって来ているのです。

(2)プラスチックごみが増えている海岸

1993年に能登半島で採取した砂の中から小さい貝を見つけました。その時はプラスチックの小さい粒はほとんどなかったのですが、現在は三浦半島、房総半島、奄美、沖縄のどこの砂を持って来ても、小さなプラスチックのごみが含まれています。

プラスチックごみが意外に多かったのが西表島の海岸ですが、風向きや潮流によりきれいな海岸もありました。ごみは特定の場所に塊りとなって漂着しており、この海岸ではほとんどが外国語表記でした。温暖化と海の汚れと異常気象、未来の子供たちへの影響が心配です。 [青野良平様]



紙面の関係上、記者のご了解を得て記事の一部を掲載しています。本文はこちらをご覧ください。

<https://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/?cat=20>

区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、

「区民環境記者」を募集しています。

季節の花の情報、地域の環境イベント情報、資源回収情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。



区内在住、在勤、在学で環境に関心をお持ちの方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで

E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5755-2200

こんな講座を開催しました

●アニメで読みとく世界の民話とミニ絵本作り

(小学生/9月29日)

アニメを見ながら世界にある天地創造の民話を聞き、ストーリーの意味を一緒に考えました。絵本の作り方を聞いた後、1冊のミニ絵本を製本しました。



●ミニ里山体験と自然観察

(小学生/10月14日)

しながわ区民公園で身近にある自然を観察しました。また昆虫などが自然の中で敵に見つからないようにカモフラージュしていることを知るゲームには、保護者も真剣にチャレンジしていました。



●おもちゃde教えて！遊んでエコ工作

(小学生/10月27日)

おもちゃ作りにも環境への配慮がなされていること学んだ後、捨ててしまうものを再利用するエコ工作进行了。バンダイのカプセル玩具の空カプセルと工場から出た廃材を組み合わせて、オリジナルのはんこを作りました。



●リサイクル実験！「ペットボトルから繊維を作ろう」

(小学生/11月10日)

使い終わったペットボトルは、服などいろいろなものにリサイクルされていることにビックリ！

実験道具を使って自分で繊維を作り、体験的にリサイクルについて学びました。



●大切な森のお話とつみ木のワークショップ

(小学生/11月24日)

日本の森の現状や間伐の必要性を学び、間伐材でできた10,000個のつみ木を使って町を作りました。わずか3種類のつみ木からできた町に子どもの創造力を感じました。



●ジャムのビンで白熱電球を作ろう！

(小学生/12月1日)

LED電球が省エネ電球であることを白熱電球、蛍光灯型電球との発熱の比較で理解しました。また白熱電球の構造や原理を学び、ジャムのビンを使って白熱電球を作りました。



●異常気象と台風・局地的大雨などの気象災害から身を守る！

(一般/8月25日)

地球温暖化が叫ばれる中、局地的大雨・集中豪雨・台風によって大きな被害が発生している現状を聞き、気象災害から身を守るために私たちがなすべきことを学びました。



●古布で作る手作りふくさ

(一般/10月19日)

古い着物を再利用して手作りのふくさを作りました。お持ちいただいた古布が明るいものが多かったため、お祝い用(祝儀袋)のふくさになりました。



●海洋プラスチックの現状と私たちにできること (一般/11月26日)

世界でも稀な日本全国の河川におけるマイクロプラスチック汚染の大規模調査結果の紹介がありました。

また今後どういった脱プラ生活が考えられるか、グループに分かれて考えました。



講座内容の詳細は、
環境情報活動センターのホームページ
https://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/
でご覧いただけます。

しながわECOだより 2019年度第3号

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：令和元年12月11日

住所：〒140-0003

品川区八潮5-9-11

TEL/FAX：03-5755-2200

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：https://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。



小学生版

環境学習講座 ご案内

春の講座計画です

春休み子ども環境学習講座

ネイチャーウォッチング ～身近な自然観察会

学校の授業とは一味違ったアプローチで生きものについて学びます。

① 3月28日(土)
(小学1～2年生と保護者)

「お花のにおい、めざめた虫、
“春”をさがしにでかけよう！」
 昨年の参加者の声：「専門家の方とまわると、身近な自然の見方がぜんぜん違って楽しかったです」
 春の草花などを採集し、香り袋を作ります♪



はるの草花の香り袋♪

■ 講師/生態教育センター



2/21

↑ 募集開始です

林の中を歩きます

② 3月29日(日) (小学3～6年生と保護者)

「八潮の自然の中で野鳥観察！」
 昨年の参加者の声：「身近なところにもこんなにたくさんの鳥がいたとは驚きでした」
 飛ぶ鳥のクラフトも作ります♪

■ 場所/こみゆにていぶらざ八潮と周辺緑地
 ■ 募集/2月21日から



何かいるかな?

品川の水辺の生きものたち

小1～3と保護者

普段は入れない公園の干潟で、海の生きものを観察し、磯遊びのマナーも学びます。

■ 開催日/4月29日(祝・水)
 ■ 募集/4月1日から



かに～!

★宇宙旅行の疑似体験と星座早見盤作り

小3～6と保護者

国立天文台制作ソフト「Mitaka」で地球を飛び出し、太陽系から地球環境を考え、星座早見盤を作ります。

■ 開催日/5月10日(日)
 ■ 募集/4月11日から



しながわ区民公園でネイチャーゲームを楽しもう

小1～3と保護者

ネイチャーゲームなどを通して自然に親しみ、生き物や自然について学びます。

■ 開催日/5月17日(日)
 ■ 募集/4月21日から



隠れてる「虫」、探せるかな?

世界に一つだけの傘を作ろう

小1～3と保護者

リサイクルできる「かさ」って何だろう?自分でオリジナルの「かさ」を作って大事に使おう。

■ 開催日/6月14日(日)
 ■ 募集/5月11日から



バナナのDNA抽出実験

小3～6と保護者

野生生物の絶滅についてクイズで学び、全員がDNA抽出実験を行います。

■ 開催日/6月21日(日)
 ■ 募集/5月21日から



* 講座の日時、名称、内容などはいずれも予定です。
 最新の情報は、環境情報活動センターのホームページをご覧ください。2か月先までの講座をご案内しています。「広報しながわ」には募集開始日に掲載されます。

【お申込方法】 *必ず保護者名をご記入下さい。

<https://shinagawa-eco.jp/>から。

または往復はがき：講座名、参加者全員の氏名(保護者名も)、住所、電話番号、学年をご記入の上、下記宛先までお送りください。

【往復はがき宛先】

〒140-0003 品川区八潮5-9-11 こみゆにていぶらざ八潮
 環境情報活動センター

【問い合わせ】 TEL : 03-5755-2200

E-mail : center@shinagawa-eco.jp

冬が暖かくなっている！ 地球温暖化？

今年は暖冬で、スキー場などでは「雪が足りない！」という話をよく耳にします。しかし雪が減っているのは今年だけではないようです。気象庁の資料によると、1962年～2013年の観測記録で「年最深積雪」（一冬で最も多く雪が積もった量）を調べたところ、北海道から東北の日本海側では変わっていませんでしたが、新潟県から九州に至る日本海側は減っていることが明らかになりました。



雪の多い新潟県では昭和(37～63年度)の平均は648cm、平成(～30年度)の平均が475cmで、雪が少なくなってきました。

60豪雪（上越市・昭和59年度）

写真・グラフとも新潟県HPより



減っているのは雪だけではありません。みなさんは「初氷」という言葉を聞いたことがありますか？冬になり、初めて張った氷のことを言い、この冬の

東京での初氷は2月6日で、初氷の遅さの新記録となりました。ちなみにこれまで一番遅かったのは2015～16年の1月13日でした。

東京の初氷はだんだん遅くなっており、早いのは1900年代中ごろで、遅いのは2000年以降が多くなっています。むかしは早く寒くなって氷が張っていたのに、近年は冬にあまり寒くならず、なかなか氷が張らないのです。

名古屋でもこの冬の初氷は12月29日で、最も遅い記録となりました。埼玉県秩父地方にある有名な氷柱(つらら)も、この冬の暖かさで見られなくなっています。

東京では2018年1月に23cmの積雪がありました。この日は電車などが雪で遅れたり、車が動けなくなりました。その前は2016年で、品川区役所のホームページにも出ています。さらにその前の2014年は27cmの大雪でした。

品川区(東京)では雪が増えているのか、減っているのか、みなさん自身でデータを読み解いてみてください。気象庁のホームページで詳細データが見られます。また、花の季節が来る前に、ぜひ冬の季節だから見られることを探してみたり、年長の人に、むかしの冬の過ごし方などを聞いてみてはいかがでしょうか。

(環境保全コンサルタント 鉢木善知)

地球温暖化 豆知識

「海にしずむ島」として取り上げられることが多い島に「ツバル」があります。ツバルは南太平洋にある9つのサンゴ島で構成された国で、品川区と同じくらいの面積の小さな国です。「海にしずむ」と言われるのは、実は海面が上昇することによるものですが、その主な原因は、海水の温度が上がり海水の体積が増えることと、陸地の氷が解けるためと言われています。1901-2010年の約100年の間に19cm海面が上昇しました。このままでは、21世紀中に最大82cm上昇すると予測されています。

水の体積と温度の関係（実験）



実験方法と結果

水の温度と体積の関係を実験で確かめました。メスシリンダーに100mlの熱湯を入れて温度を測定したところ83°Cでした。しばらく放置してから温度を測ると22°Cに下がっており、この時の水の体積は97mlでした。22°Cから83°Cに水温を上げると体積が約3%増えることがわかりました。

しながわecoだより 2019年度第4号

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人

エコタウンしながわ

発行日：令和2年2月10日

住所：〒140-0003 品川区八潮5-9-11

TEL/FAX：03-5755-2200

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：https://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています